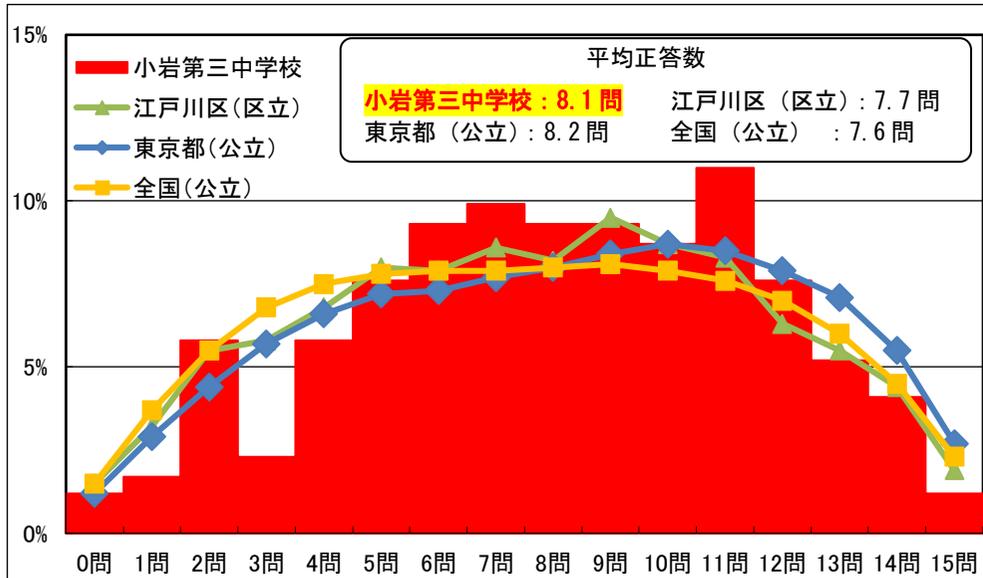


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】小岩第三中学校

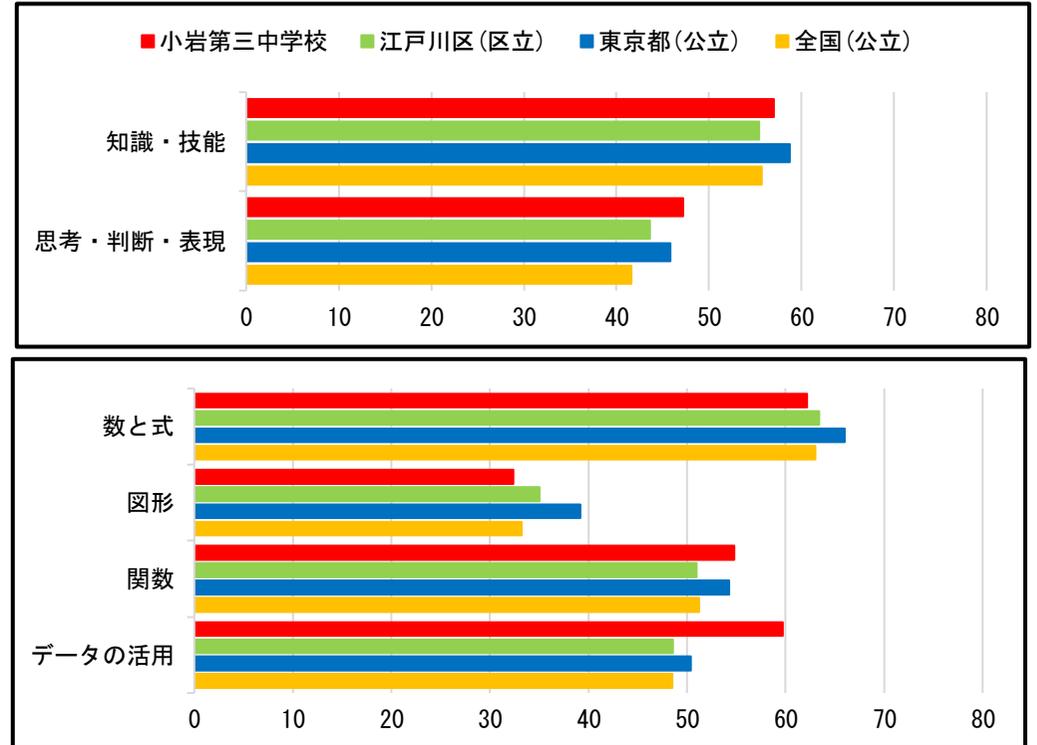
正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上位 ← 下位			
	A層 11~15 問	B層 8~10 問	C層 5~8 問	D層 0~4 問
小岩第三中学校	29.1	27.3	36.1	16.8
江戸川区(区立)	18.1	26.5	24.7	30.7
東京都(公立)	31.7	25.1	22.2	20.8
全国(公立)	19.8	23.6	23.8	32.8

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

小岩第三中学校	54%
江戸川区(区立)	51%
東京都(公立)	54%
全国(公立)	51.0%
都との差	0ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

平面・空間図形における問題把握、また、知識習得後のアウトプットが課題と考えられる。思考を表現することは非常にたけているため、授業において立体の実物を使用するなど、デジタルでは気づき辛い空間認知を向上させる授業を取り入れていく。また、知識を蓄えるだけでなく、アウトプットするテスト等を授業内で行う。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。